

2023 年 8 月 2 日
BEENOS 株式会社**BEENOS が越境 EC 流通総額 No.1 を獲得**
2021 年 5 月の調査に続き、2 度目の No.1 を継続して獲得

BEENOS 株式会社（東証プライム：3328、以下 BEENOS）の完全子会社が運営する越境 EC の購入サポートサービス「Buyee（バイイー）」は株式会社東京商工リサーチ（以下 東京商工リサーチ）が実施した調査において、「国内越境 EC 年間流通総額 NO.1」を獲得しました（※1）。本調査は 2021 年 5 月以来 2 度目の実施となり、BEENOS グループは継続して NO.1 を獲得いたしました。

BEENOS 越境 EC サービスサイト <https://service.beenos.com/>**越境 EC サービス「Buyee」の流通総額は、継続成長を続け前年同期比+37.8%に拡大**

海外向け購入サポートサービス「Buyee（バイイー）」<https://buyee.jp/> の 2023 年第 2 四半期の流通総額は前年同期比+37.8%（※2）と大きく伸長しています。2022 年に始まった記録的な円安の流れは落ち着き、円高傾向が見られるようになってからもコロナ禍をきっかけに拡大した越境 EC 市場は現在も継続的に成長を続けています。Buyee は安価な手数料や国際配送料、連携 EC サイト数の増加等を受け新規ユーザー、既存ユーザーによる堅調なサービスの利用が見られました。

EC 化率の高まりによる利用加速とインバウンド復活で越境 EC 市場は拡大を見込む

越境 EC 市場は 2019 年時点で世界の越境 EC 市場規模が推計 7,800 億 US ドルに対し、2026 年には 4 兆 8,200 億 US ドルへの成長が見込まれています（※3）。2022 年に始まった円安傾向の中では、日本の商品に対する需要が一段と高まったことから、越境 EC での活発な消費が行われました。ホビーやエンタメ、アパレル商品の人気に加え、ブランド腕時計やフィルムカメラ、ゴルフグッズなどが売り上げを伸ばしており、より高価格帯の商品の購入が盛んになり顧客単価が 10.84%伸長（※4）しました。

特に北米・台湾・香港で大きく流通を伸ばした他、クウェートなどの中東地域やメキシコなどの南米でも流通を伸ばし、幅広いエリアでユーザーが拡大しました。ユーザー数は 80 万人以上増加しており、対応言語も 10 言語から 18 言語に拡大しております。

1 アカウントで日本の国内数千サイトから商品が購入できる利便性、安価な国際配送料や独自物流サービス、1 オーダー 300 円の手数料、18 言語によるカスタマーサポートや同梱サービスといった便利で安心して

使えるサービスの提供により、新規ユーザーを着実に継続利用につなげ、継続的な流通拡大を達成しています。

今後は本格的なインバウンド消費の復活が見込まれていますが、当社独自の調査でも「訪日後のリピート買いでの越境 EC 利用意向」は 92%以上を占めており(※5)、帰国後の商品購入のフォロー施策として越境 EC の積極的な利用が予測され、越境 EC が国内企業の流通拡大に貢献できる領域を広げてまいります。

BEENOS グループは越境 EC のリーディングカンパニーとして日本・海外へとシームレスにつながるグローバル EC を日本の EC における Next スタンダードにすることを目指し、サービスの進化を続けながら日本の魅力ある商品やコンテンツを世界中にお届けする支援を続け、国内企業の流通拡大に貢献してまいります。

<日本企業の海外販売を支援する「Buyee」「言語」「決済」「物流」の3つの壁を解消>

Buyee は、日本企業の越境 EC をサポートするサービスです。海外販売の障壁となる「言語」「決済」「物流」の問題を解消し、サービス利用料も 0 円から対応可能です。Buyee を導入することで、一括で世界 118 ヶ国/地域に販売できます。さらに、2020 年より新サービス「Buyee Connect」を提供開始し、タグ設置のみで自社の EC サイト上に海外専用カートを開設することができ、より手軽に越境 EC がスタートできるようになりました。

BEENOS グループは越境 EC 黎明期である 2008 年より海外転送サービスである「転送コム」事業を開始し、海外発送オペレーションやグローバルなカスタマーサポートなど独自のノウハウを培ってまいりました。海外への販売環境の構築に留まらずユーザー獲得や集客支援も提供しており、手厚い海外販売支援が評価され、BEENOS グループ全体での国内企業の越境 EC 支援実績は累計 4,000 件以上に上ります。(※6)

海外のお客様からは、配送手段や決済手段が多様であること、北米やヨーロッパ、アジアへ向けた独自の物流サービスによる国際配送料の安さ、複数のサイトで購入した商品でも同梱できることなど高いサービスレベルが好評で、現在会員数は 412 万人以上に上ります。(※7) さらに、出店企業と公式で連携していること、18 言語に及ぶカスタマー対応など安心のサポート体制で、リピーターも多いサービスです。

(※1) 「Buyee」を含む主要越境 EC サイト における海外個人を対象とした日本から海外への年間流通総金額(2021 年 10 月~2022 年 9 月)

東京商工リサーチ調べ 2023 年 6 月時点

(※2) 2023 年第 2 四半期(2023 年 1 月 1 日~3 月 31 日)の Buyee における流通総額の前年同期比

(※3) 経済産業省『令和 3 年度電子商取引に関する市場調査報告書』

<https://www.meti.go.jp/press/2022/08/20220812005/20220812005-h.pdf>

(※4) BEENOS グループの海外向け購入サポートサービス「Buyee」経由の 2022 年 1 月~9 月の購入金額、購入 UU、顧客単価より算出

(※5) Buyee 会員に向けて実施した越境 EC の利用意向調査(2022 年 7 月 22 日~28 日実施)

https://beenos.com/news-center/detail/20220826_bcr_pr/

(※6) BEENOS グループが提供する「Buyee」「Buyee Connect」およびダッシュボードの提供、越境 EC 関連サービス「転送コム」、海外マーケットプレイスへの出店および出品サポート、マーケティングおよびプロモーション支援の件数を合わせた数字、BEENOS グループとしての国内企業の越境 EC 支援実績の累計、2022 年 12 月時点

(※7) 「Buyee」と越境 EC 関連サービス「転送コム」を合わせた数字、2022 年 9 月末時点

[調査概要]

調査機関：株式会社 東京商工リサーチ

調査対象：「Buyee」を含む日本国内の主要な越境 EC 対応サービス

調査期間：各調査対象企業の直近年度 1 年(直近年度の決算期ベース)、調査時点

調査手法：調査員によるヒアリングをベースとした調査

調査内容：「Buyee」を含む国内の主要な越境 EC サイトにおける海外個人を対象とした日本から海外への年間流通総金額

※年間流通総金額として、EC サイトでの購入金額（商品の価格）および、当該サービスの手数料を対象とし、送料や保険費用等は対象外と想定。

【BEENOS 株式会社の概要】

社名：BEENOS 株式会社

代表者：代表取締役執行役員社長 兼 クループ CEO 直井 聖太

本店所在地：東京都品川区北品川四丁目7番35号

設立年月：1999年11月